

(法第28条関係)

平成23年度事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人みんなのひろば

1 事業の成果

(1) 東日本大震災により以前賃借していた物件が使用できなくなってしまい、また放射能問題も重なり、元のようにフリースクール事業が再開できるかの不安もあったが、全国広くから、または遠くアメリカからも義捐金を届けていただき、なんとか別の物件を賃借することもでき、5月よりフリースクール事業を再開することができた。大震災のフラッシュバック、またスクールの場所が変わったこともあり、なかなか子どもたちも落ち着かなかったが、徐々に慣れてきて、現在では元気に毎日通ってきてくれている。新しい生徒も増え、現在、通常利用の子が11名、夏休み等短期利用の子が10名と、その子その子に合わせた専門的な対応も増えている。今後もスタッフ一同、研修等も増やししながら、ニーズにこたえられるような支援を増やしていきたい。

(2) ひきこもり等若年求職者への就職サポート事業については、相談業務を主として5名と関わっている。ハローワーク・職業センターなどとも連携して、就職から継続雇用へとつながるよう今後も支援していきたい。

(3) 子どもの居場所づくり事業に関しては、今年度はふくしまビッグフェアも開催されず、移動科学実験教室なども開催できなかった。来年度以降、機会を増やしていきたい。

(4) 保護者・関係機関・行政・市民・学生の学習と交流を図る活動、福島県キンボールスポーツ連盟事務局としては、今年度、独立行政法人福祉医療機構福祉活動支援事業の助成金を受けることができ、県内各地にて体験教室事業とリーダー資格講習会を実施した。合計で486名と大変多くの方々に参加いただき、大好評であった。来年度に関しても継続して当事業を開催できればと考えている。また、大震災の影響で中止となった、第1回福島県キンボールオープン大会兼東北ブロック大会をまた招致できるよう働きかけていきたい。

(5) 教育や不登校についての相談・情報提供活動については、これまでと同様に相談業務(訪問・電話・ファックス)とホームページ上による相談業務を行ってきたが、ネット・メールを利用した相談が増えてきている現状がある。実際に会ってお話できるわけではないのでメール相談をしていく上で苦慮する部分も多いが、今後もこういった匿名での相談やネットを介した相談業務も増えていくことが予想される。スタッフのスキルアップを図っていきたい。

(6) 親と子のふれあい事業のやさしい子育てワークショップは、今年度も参加できる方の予定を考慮しながらではあるが年2回開催することができた。子育てにおいて悩みや不安などを、簡単な工作などのワークショップを通して皆で気軽に話し合えるような雰囲気作りを心掛けた。来年度も継続して、またワークショップの内容についても楽しめるものを考え出していきたい。

(7) その他目的を達成するために必要な事業に関しては、遊楽クラブ支援をこれまでも継続して活動してきているものであり、今年度に関しても内容を充実させることができたと思う。今後も新しい企画を考えたりしながらお役に立てるよう内容の充実を図りたい。

2 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
(1) 子どもが主体となるフリースクール事業	●フリースクール運営	月～金	事務所	1～2名	21名	3,125

(2) ひきこもり等若年求職者への就職サポート事業	●相談業務 ●就職支援	随時	事務所 家庭訪問	3名	5名	156
(3) 子どもの居場所づくり事業						0
(4) 保護者・関係機関・行政・市民・学生の学習と交流を図る活動	●福島県キンボール連盟事業	通年	事務所	15名	(講習会事業) 630名	1,742
(5) 教育や不登校についての相談・情報提供活動	●訪問相談事業 ●ホームページによる活動内容公表及び相談活動	随時	訪問相談 (福島市・伊達市・会津若松市)	2名	8名	253
		随時	事務所	2名	会員及び広く公表	
(6) 親と子のふれあい事業	●「やさしい子育て」ワークショップ	H23. 12. 3 H24. 2. 6	事務所	4名	13名	23
(7) その他目的を達成するために必要な事業	●遊楽くらぶ支援	月1回	福島市 郡山市	3名	レクリエーション インストラクター 30名	16